

今回のPIの特徴

1. 地域住民の代表であるワーキンググループが主体的に活動

ワーキンググループメンバーの8人の方は、能登地域の将来を考えたみちづくりについて議論を交わしたり、地域住民の意見・要望を聞いたり、地域のために懇談会のとりまとめにご尽力されました。そのおかげで、9ヶ月という短期間で懇談会におけるのひとりの結論がまとまりました。

2. 地域主導の検討とするため、学識経験者等からなる第三者機関を設置しなかった

一般的なPIプロセスでは、進め方や公表情報に関する助言・評価を実施し公平さを保つ観点から学識経験者等からなる第三者機関を設置し、座長を中心に議論を進める場合が多いのですが、地域住民の皆さんの積極的な議論によって、懇談会を進めることができました。

3. コーディネーターとして司会業の専門家を登用

司会者は、懇談会の当日のみならず、事前事後のワーキンググループに積極的に参加していただき、円滑で和やかな懇談会の進行に務めていただきました。

★ ワーキンググループメンバーの紹介

能越自動車道田鶴浜道路の建設にあたり、地域の取りまとめ役としてご尽力された方です。
(田鶴浜町農業委員会会長)

大橋 覚さん
(おおはし さとる)

能登全域の産業、経済、観光面に精通されています。
(七尾市観光協会会長)

小田 禎彦さん
(おた さだひこ)

高田地区の歴史や文化に詳しい方で、地区の取りまとめ役をされている方です。
(高田区长)

大林 清さん
(おおばやし きよし)

七尾市全域の自治会の意見を聞いて、話し合いができる方です。
(七尾市町会連合会会長)

北原 久禅さん
(きたはら きゅうぜん)

長年サービス産業に従事され、現在はふるさとの杉森地区でとりまとめ役をされている方です。
(杉森区长)

腰岡 松雄さん
(こしおか まつお)

地域における商工面等に関してご尽力されている方です。
(七尾商工会議所専務理事)

中村 康夫さん
(なかむら やすお)

地域商工業の発展のために識見と指導力を発揮されている方です。
(田鶴浜町商工会会長)

永江 英毅さん
(ながえ えいき)

女性の目から見た今後の能登に対する思い入れの強い方です。
(七尾市婦人団体連絡協議会会長)

藤井 靖子さん
(ふじい やすこ)

★ ワーキンググループメンバーの感想

- ☆ PIは、すべてのことに適応する手法だとは思わないが、住民の考え方を聞くうえで良い手法であったと思う。
- ☆ 用地買収の説明会と異なり、地域住民の関心を高めるために、様々な働きかけが必要だ。
- ☆ 道路はもう必要ないと思っていたが、懇談会を進めるうちに、能登地域にはこれからも道路は必要であると思った。
- ☆ みちづくり懇談会が始まった頃は、自分で線(ルート)を引いたり色々シミュレーションしてみたが、なかなか自分でも考え方がまとまらなかったが、この会がまとまり安心した。
- ☆ これまでのやり方は、国土交通省に陳情していたが、PI方式では地域住民の意見が提言できるため良いと思う。